

JA ASAHIKAWA

あさひかわ

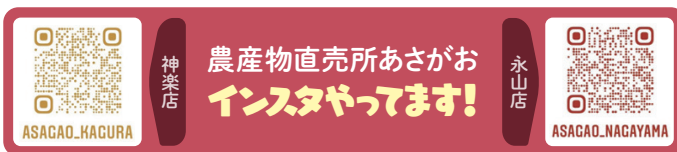
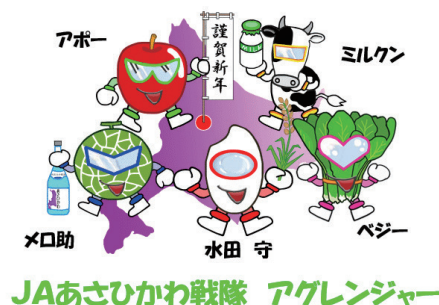


石狩川

特集

新春を迎えて

- ❖ 女性部役員と今津寛介旭川市長との懇談会が実施される!
- ❖ 青年部 20周年記念式典を開催
- ❖ 地域農業セミナーが開催される
- ❖ 理事会日より

JAグループ
共栄火災JA
組合員
向け

JA共済 労働災害保障制度

業務災害補償保険

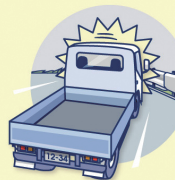
2020年10月以降保険始期用

保険料
最大
約59%割引

労働災害への備えとして、
「従業員」と「事業者」を
両面でサポートします!!

例えばこんな時に保障します

従業員をお守りする保障

農作業中のあらゆる状況で
事故は発生しています!トラクターが横転し
従業員が亡くなった。軽貨物車で通勤
中、交通事故に遭
い入院した。農作物を運搬
中、足を滑らせ
転倒し、大ケガ
をした。

事業者をお守りする保障

労災事故による損害賠償が
高額になることも!従業員が農作業中の大ケガにより
後遺障害を被り、管理者責任(使用
者責任)を問われた。

ご契約いただいた皆様へのサービス (無料電話サービス)

事業者相談サービス

①税務相談 ②法律相談 ③労務相談 ④健康・介護相談 ⑤専門医相談

メンタルヘルス・ストレスチェック
支援サービス①WEBストレスチェックサービス* ②ストレスチェック紹介サービス
③人事・労務ホットライン ④メンタルヘルスサービス

※当サービスは予告なく変更することがあります。

- 上記の内容は商品の概要をお知らせするものです。ご加入をご検討の際には、「JA共済 労働災害保障制度(業務災害補償保険)」(PE113900)のパンフレット・重要事項説明書を必ずご確認ください。
- 「JA共済 労働災害保障制度(業務災害補償保険)」は、全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)を集团とする集团扱契約で、保険契約者は「JA」の組合員である法人・個人事業主等の事業者」および「JA」となります。
- この制度固有の割引として最大57%割引にて算出した保険料に、さらにJA共済連が集团として保険料を集金することにより集团扱一時払5%を適用することにより、一般で加入するより最大約59%割引にてご加入いただけます。
- 「JA共済 労働災害保障制度(業務災害補償保険)」は、損害保険であり、共済ではありません。

取扱代理店

あさひかわ農業協同組合

引受保険会社

共栄火災海上保険株式会社

B20-0921-20210813



新春を迎えて

代表理事組合長 島山 守穂

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年は農協運営並びに事業推進に対し、ご理解とご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

昨年の当農協の農産物は生育期間中大きな障害等はなく、概ね順調な生育となりました。主幹作物である米は作況指数107と出来秋を迎えることができました。

国内に目を向けますと、新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、先行きの見通しが非常に難しい情勢が続いております。また、円安の影響も加わり、物価上昇が顕著になってきており、農業分野においても、肥料・飼料・資材・燃料の高騰など、大きな影響を受けているところであります。

水田活用交付金の見直しは、地域農業の根幹をゆるがす大きな問題であり、見直しの時期が5年後と長期間であるため、

現在も詳細は定まっておらず、国でも様々な検討が進められている状況です。農協としても、見直しに係る諸問題を提言しつつ情報収集に取り組んでおります。確定・整理がついた内容につきましては組合員にお示ししてまいります。

また、組合員の営農振興方策として、青果及び直売所生産者に対応できる普及員のOBを雇用して圃場巡回を強化し、生産向上に努めました。今後も産地の維持・拡大に向けた生産販売向上を行ってまいります。

農協を取り巻く環境は、高齢化により、農業生産基盤は縮小傾向に直面し、組合員の減少とともに出資金流失が加速されます。持続可能な事業運営を図るべく財務基盤の強化、経営収支の確保を取り進める必要があります。第8次農業・農協中期3ヶ年計画において折り込み取り組んでまいります。

最後になりますが、組合員皆様方にとつて実りある豊稔の1年となり素晴らしい年になりますことをご祈念いたしまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。



令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会代表理事会長 小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があると見られます。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊稔の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

知りタイガーのJA虎の巻

第29回 JA全国大会決議 JAグループの実践

〈今回のテーマ〉

JAグループがすすめる「国民理解の醸成」って、 具体的にどういった取り組みなの？

私たちが生きていくうえで欠かせない「食」と、それを生産する「農」を未来につなぐため、その大切さについて国民全体で理解を深めていただくための取り組みです。

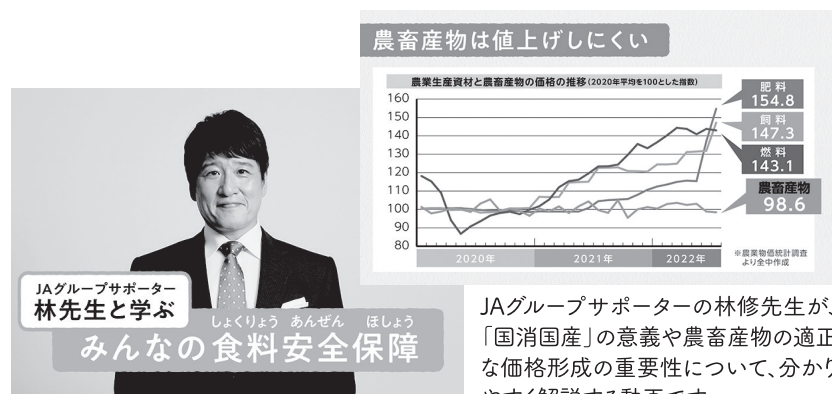
ロシアによるウクライナ侵攻等による影響で食料価格が世界的に上がったことで、食料の約6割を外国に頼ることの危うさが浮き彫りになりました。加えて、肥料や家畜のエサ、燃料など、農業生産に欠かせない資材の価格上昇が、生産現場に打撃を与えています。

こうした課題に対しJAグループは、「国」民が必要として「消」費する食料はなるべく「国」内で生「産」する「国消国産」という考え方の意義や、農畜産物を外的環境もふまえた適正な価格で販売することの重要性について、分かりやすい情報発信に取り組んでいます。

※2021年、カロリーベース

動画

林修先生のミニレッスン動画
みんなの食料安全保障(約7分)



耕そう、大地と地域の未来



新年挨拶

青年部部长 岡田雅樹

皆様、新年明けましておめでとうございます。日頃より、組合員の皆様におかれましては、青年部活動に對しまして格別のご理解・ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。また、青年部員の皆様におかれましては、青年部活動へのご参加・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、一昨年のような極端な天候はそれほど多くなく、稲作にとっては良い出来高、青果も概ね良い年と伺っております。ただ、豆類においては近年に無い品質低下により価格下落が著しく、大変厳しい結果となっております。

今年度の青年部活動においては地域との関わりに重点を置き、農協職員との交流を兼ねた旭川中心街の清掃活動を行いました。新しい試みでありましたが、部員はもちろん多数の農協職員にもご参加いただきました。この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。

また、昨年から行っている旭川農業高校との合同事業においても、同校生徒を対象とした農作業体験の受入を新たに組み、各4地区の部員園場で12回の受入を行い、作業体験をとおして農業について理解を深めてもらえる場となりました。さらに当青年部が創立20周年を迎えたことに伴い、記念式典を開催し、青年部の発展に多大なるご尽力を賜りました歴代部長の皆様、感謝状を贈呈しました。あさひかわ農協青年部として新たな一歩を踏み出す年となりました。

ところが、近年の世界情勢などにより、作業面においても経営面においても厳しいものばかりです。このような困難を乗り越えていくためにも青年部ならではの力で農業を盛り上げることが大切であると感じます。

結びとなりますが、諸先輩方や関係機関の皆様方のご指導、ご鞭撻のほどを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸、そして豊稔の年となることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



新年挨拶

女性部部长 山川八重子

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様をはじめ、JA職員の皆様には日頃よりJA女性部に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナの終息を願うも、その兆しは見え、更に隣国ロシアのウクライナ侵攻が勃発し、不安にさらされ、農業の将来に不安が募る一年でした。

さて、JA女性部活動の一年を振り返りますと、昨年もコロナ対策を施すのは活動の掟だと受け止め、「今できること」と向き合いながら、部員と共に歩き続けてきました。

永年、これまでの活動で築いてきた仲間との繋がりが細かく分断され、それを復活させようと手がけた情報誌「絆」は、部員同士の「温もり」までも伝わり、感慨深いものがあります。年度の初めから長引くコロナ禍で農業経営に影響が及ぼし始めた春、酪農業を応援しようと呼びかけた牛乳消費応援は皆様のご協力で実施できました。奉仕活動のフラワーハーモニーの取り組み、農家の豊かな食生活に向けた加工事業、農業経営や暮らしに欠くことのできない学習会や講習会は部員自らが企画運営に携わり、4回実施することができました。この一年の活動が参加された皆様にとって実り多いことを願っております。

また、今年は年々11月25日に特別企画として、旭川市長との懇談会が開催されました。私たち役員3名が出席し、今津市長に農業女性の視点から地域農業の現状と農産物を生産する立場からお話をさせていただきました。いくつかの提案をさせていただきました。私達の話に耳を傾け、丁寧にお話を聞き、応えてくださる姿が印象に残る懇談会になりました。

最後になりますが、平和な日常に戻ることを願い、新年の挨拶といたします。

JAあさひかわ青年部 20周年記念式典を開催

12月12日（月）、JAあさひかわ青年部創設20周年を記念して歴代部長への感謝状贈呈式を開催しました。

島山組合長を始め、常勤役員・営農企画部長・購買部長・各基幹支所長などを来賓として招き、大勢の部員が参加しました。

また、JA上川地区青年部協議会会長小川智也様より祝電もいただき、式典に花が添えられました。

招待された第10代から第18代の歴代部長には、創設以来青年部の発展に多大な貢献をしていただいたことへ感謝の意を込め感謝状と記念品が贈られました。

受賞者を代表して第13代部長高木高善様が、「今後も青年部の若い力を、地域農業の発展に存分に発揮してほしい」と挨拶しました。

式典終了後の懇親会では、歴代部長と青年部員との交流も深まったようで、20周年という節目を迎えたJAあさひかわ青年部は、この日新たな一歩を踏み出しました。



子ども食堂へ新米500kg 提供



11月28日（月）、農産物直売所あさがお神楽店で、旭川市に27カ所ある子ども食堂の運営を支える日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）へ新米500kgを提供しました。

今回の贈呈は、子どもに地元のおいしい新米を食べて貰いたいと実施。島山組合長が「特別栽培米ゆめぴりか」と「YES!cleanななつぼし」をそれぞれ250kgずつ、ワーカーズコープの渡邊所長へ手渡しました。

渡邊所長より「安全・安心なお米を贈っていただき大変ありがたい。子ども食堂で有効に活用したい」と感謝の言葉をいただきました。

女性部役員と今津寛介旭川市長との懇談会が実施される！

11月25日に旭川市役所第二庁舎にて、JAあさひかわ女性部役員3名と今津寛介旭川市長との懇談会が行われました。『農村発～都市と農村の交流～』と『地域農業の今～世代交代から見える地域～』という2つのテーマのもと、女性部からお話をしました。

都市との交流農業の魅力発信や地産地消、農村と市民との交流、また、現在の農業が抱える課題から、これからどのような取り組みが考えられるか等、提出した資料をもとに話が進められました。

今津市長は、女性部の発言ひとつひとつに相槌を打ち、耳を傾けてくれ、これから取り組めそうな事案や、旭川の農業の今と今後の課題について理解を示してくださった。旭川の農業には大きな可能性がある中で、これからの農業の未来が明るいものになるように、農業者と行政とが協力をして取り組んでいきたいとお話をいただきました。

限られた時間ではあったが、市長との懇談という貴重な機会は大変充実したものとなりました。



11月15日（火）～11月16日（水）旭川米生産流通協議会トップセールスが実施される！

コロナ禍における外食産業の低迷の長期化などにより、米の需要減少が著しく、令和3年産の米価が大幅に減少するなど、米を取り巻く環境は厳しい状況にあります。旭川米生産流通協議会では関係者が一体となって低タンパク質米などの良食味米生産対策の一層の推進に努めているところであり、協議会では産地評価の向上を図るため、行政と協議会を構成する4JAが一体となって旭川産米のトップセールスを実施しました。

新たに協議会の特別会長となった今津旭川市長はじめ、谷鷹栖町長、当組合の島山組合長など市内4JAの組合長らが参加し、各訪問先において意見交換を行い、旭川産米のPRを行いました。



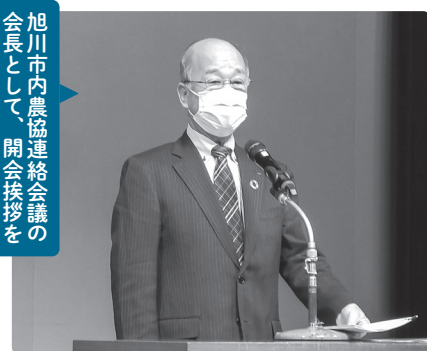
㈱ニチレイフーズを訪問、冷凍食品事業の国内最大手。



㈱神明を訪問、国内最大手の米卸業者。

地域農業セミナーが開催される

旭川市内農協連絡会議の
会長として、開会挨拶を
行う島山組合長。



スマート農業について学ぶ「地域農業研修セミナー」（旭川市内農協連絡会議と同市の共催）が12月10日（土）、旭川市民文化会館で開かれました。市内4Jの役職員を始め、約200人の市民が参加し、スマート農業の課題、取り組みについて触れました。

今津市長の挨拶に続き、旭川市内農協連絡会議の会長として、当組合の島山組合長が主催者挨拶を行い、セミナーがスタートしました。

農林水産省研究調整課長の佐藤氏、(株)クボタ機械業務部長の木下氏から講演をいただきました。佐藤氏からは現在、北海道で行われているスマート農業のプロジェクトや旭川農業の現状や課題などについてお話がありました。木下氏からは(株)クボタが取り組んでいるスマート農業の確立・普及に向けた取り組みのご説明があり、今後も環境に優しく持続可能な農業の実現に貢献したいとのお話があり、大変有意義な講演で参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。

JAあさひかわ米トップセールスを実施！

12月7日から3日間、JAあさひかわ米トップセールスを実施しました。

生産者組織の代表者として、稲作協議会・岩井会長、特別栽培米部会・石坂会長、酒米部会・安友監事が出席され、当組合からは古澤専務と米穀農産課職員が同行しました。

道外大手米卸業者や実需先である、津田物産(株)（大阪府）・玉乃光酒造(株)（京都府）・JAあいち経済連（愛知県）・内堀醸造(株)（岐阜県）を訪問し、当組合の生産者組織代表者が一体となったトップセールスの実施により、今後の需要拡大に向けた意見交換や、産地評価の向上を図りました。



訪問先の岐阜県 内堀醸造(株)



訪問先の大阪府 津田物産(株)

TACパワーアップ大会2022にてJA部門「JA優良賞」受賞

11月17日～18日の2日間に渡って新横浜プリンスホテルにて「TACパワーアップ大会2022」が開催されました。

生産者の高齢化等からくる生産人口の減少は、団塊の世代の大量離農や後継者不足も相まって年々加速しています。このような状況のなか、5年後、10年後の地域農業を支える担い手の重要性はさらに増し、JAにおけるTAC活動の維持・強化の必要性がさらに強まっています。

こうした時代の流れをふまえ、15回目を迎えた今大会では5年後、10年後を見据え、地域の抱える課題の解決と、担い手の課題解決を通じた生産基盤強化、JAの総合事業としての強みを生かしたTAC活動の強化など、優良事例を共有するとともに、TAC間の交流・意見交換の場とすることでTAC相互のネットワークを構築し、更なる活動のレベルアップをめざすことが目的とされています。

当組合は「労働力不足解消に向けたサポート体制の強化」に向けたヘルパー事業の取り組みや、ドローンを活用した適期防除の支援作業等における取り組み事例が認められ、JA部門における「JA優良賞」を受賞しました。（全国の4JAが受賞）

JA表彰は過去にも2度受賞しており、今回で3度目の受賞となりました。

受賞したJAは、全国から集ったTACに向けて各取り組み事例を発表し優良事例を共有しました。



事例発表する
米穀農産課上原課長



JA 優良賞の表彰を
受ける古澤専務



理事会だより

第12回 理事会

令和4年10月31日(月)

不祥事再発防止策報告

不祥事再発防止策取組状況について

決議事項

- 令和4年度9月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 電子交換所参加に伴う代金取立手数料の改定について
- 令和4年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策及び令和5年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策(案)について

報告事項

- 農家経営対策組合員の令和4年度第3四半期実績について
- 営農企画部・購買部の営業時間変更について
- TAC活動状況報告、主要農産物の状況及び地区営農状況について
- JAあさひかわ無料職業紹介について
- 令和4年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- 融資要項の一部改正について
- 令和4年度金融支援策を踏まえた当組合の対応について
- 組合員懇談会の意見及び回答について
- 規程類の一部変更について
- 組合員加入及び脱退の状況について
- 人事異動について
- その他

第13回 理事会

令和4年11月29日(火)

不祥事再発防止策報告

不祥事再発防止策取組状況について

決議事項

- 令和4年度10月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 理事に対する貸付について
- 組合員懇談会の開催について
- 年末手当の支給について
- 組合員の出資金持分の減口について

報告事項

- 内部監査の実施報告について
- 経営安定対策等各種助成金について
- 神居地区農用地利用調整組合設立について
- 疑わしい取引の届出にかかる第3四半期定期報告について
- 反社会的勢力排除対応管理先にかかる対応状況報告について
- 信用事業及び共済事業における相談・苦情等(令和4年度上半期)の報告について
- 令和4年度第4四半期余裕金運用計画額および運用方針について
- 子法人等9月末事業実績について
- 組合員加入及び脱退の状況について
- 年末年始の営業時間について
- 人事異動について
- その他

お悔やみ 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

10/11	森田 千榮子 さん	北野地区2区農事組合
11/11	中西 栄一 さん	永山地区永山南農事組合
11/12	大橋 義男 さん	永山地区10区1組農事組合
11/14	中村 榮松 さん	旭正地区愛宕農事組合



(令和4年11月末実績)

概要

組合員数	正組合員	1,653 名
	准組合員	17,803 名
	合 計	19,456 名
出 資 金 残 高	2,095 百万円	
販 売 取 扱 高	4,158 百万円	
生 産 資 材 供 給 高	1,250 百万円	
給 油 所 供 給 高	1,323 百万円	
生 活 供 給 高	69 百万円	
貯 金 残 高	99,281 百万円	
融 資 残 高	24,567 百万円	
長 期 共 済 保 有 高	1,487 億円	

監事会・監事監査の報告

監事会

第10回監事会 令和4年10月31日開催
第11回監事会 令和4年12月5日開催

監事監査

- 随時監査
令和4年10月に管理部、農産物直売課、購買課、燃料課、8金融支所、2資材センター、4給油所を実施
- 無通告監査
令和4年10月に金融課、6金融支所、1資材センターを実施
- 第3・四半期監事監査
令和4年11月16日から18日と11月24日、12月5日の5日間実施

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。今年は卯年です。足腰に力を入れて飛躍する、そんな素晴らしい年に行きたいです。
いつもご愛読いただいている組合員の皆さまにはくれぐれも健康に留意され、豊穰の秋を迎えられますことを心よりお祈り申し上げます。農作業事故にお気をつけください！

JAあさひかわ広報誌編集委員会



JAあさひかわの
気になるニュース

北海道教育大学旭川校 ～江丹別そば・そば打ち体験～

JAグループ北海道と北海道教育大学旭川校の主催による「江丹別そば・そば打ち体験」が12月3日(土)に江丹別若者の郷で開催され、学生27名、教師1名が参加しました。営農企画部谷本部長より令和4年度JAあさひかわ管内の気象状況、お米の作柄状況、そばの作柄実績などの説明があり、学生達は農作物の専門的な話に真剣に聞き入っていました。

コロナ禍で大人数での課外活動が制限される中、春の田植体験・夏のトマト収穫体験・秋の稲刈り体験、そして今回のそば打ち体験とすべての活動を通して開催出来たのは実に3年ぶりでした。

そば打ち講師小野寺勝三氏よりそば打ちについて指導をいただき、慣れない作業に戸惑いながらも、そば粉に加水し捏ねる工程から始まり四角く平らに伸ばし細長い麺の状態に切る所までの作業を体験し、手打ちそばを各々が完成させました。今回はコロナ禍のため生そばを持ち帰ることになりましたが、そばと合わせて自宅で食べ比べをして下さいとお伝えし、学生の皆さんにJAあさひかわ産米ゆめびりか・ななつぼしで作ったおにぎり2種類を配布しました。

普段はなかなか体験出来ない現地でのそば打ちと地元農産物の食育活動を通して、皆心から満足した様子でした。



小野寺講師の
そば打ちを
真剣な眼差しで
見守る学生の皆さん。

❖退職

日付	資格名	氏名	所属
9/26	係	駿河 静佳	永山金融支所貯金共済課係
10/31	審査役	南 彰	神居基幹支所長兼神居金融支所貯金共済課長
11/30	推進役	大石 晶人	神楽金融支所融資相談課推進役

❖異動

日付	資格名	氏名	新役職	旧役職
11/1	審査役	田路 裕子	神居基幹支所長兼神居金融支所貯金共済課長	営農企画部企画課企画外郭組織担当審査役
11/14	推進役	佐藤 雄二	神楽金融支所融資相談課長	神楽金融支所支所課長
11/14	推進役	木内 和紀	金融共済部金融課推進役	旭川中央金融支所長兼旭川中央金融支所貯金共済課長
11/14	推進役	大石 晶人	神楽金融支所融資相談課推進役	旭川中央金融支所融資相談課長
11/14	調査役	吉崎 隆裕	神楽金融支所貯金共済課長	神楽金融支所支所課係長
11/14	調査役	白取 雅美	神楽金融支所貯金共済課係長	神楽金融支所支所課係長
11/14	主査	山本 朋佳	神楽金融支所貯金共済課係長	旭川中央金融支所貯金共済課係長
11/14	主査	青木 文香	神楽金融支所貯金共済課主査	神楽金融支所支所課主査
11/14	係	木下 佑香	神楽金融支所貯金共済課係	旭川中央金融支所貯金共済課係
11/14	係	佐藤 駿介	神楽金融支所貯金共済課係	旭川中央金融支所貯金共済課係
11/14	係	南澤 詩織	神楽金融支所貯金共済課係	旭川中央金融支所融資相談課係
11/14	係	今井 琢弥	神楽金融支所貯金共済課係	旭川中央金融支所貯金共済課係
11/14	係	目黒 麻鳳	神楽金融支所貯金共済課係	神楽金融支所支所課係
11/14	係	生田 雄也	神楽金融支所貯金共済課係	神楽金融支所支所課係
11/14	係	藤原 有亮	神楽金融支所貯金共済課係	神楽金融支所支所課係
11/14	係	池尻 一貴	神楽金融支所貯金共済課係	旭川中央金融支所貯金共済課係
11/14	係	丹 咲紅良	神楽金融支所貯金共済課係	神楽金融支所支所課係